

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月29日(木) 15:00~16:20
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 仮設校舎管理棟通信制第2職員室
- 4 参加者

会長	安田 和夫	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
副会長	廣瀬 富久夫	本校同窓会 会長
委員	臼井 悟	鶉自治会連合会 会長
	木下 福太郎	本校卒業生
	田内 恵美	本校校友会 会長
	前田 貴子	地域創生キャリアプランナー
	松野 恵	本校PTA会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	学校側	鶉飼 陽一郎
	長澤 紀明	副校長
	松野 聡美	事務部長
	辻 昌宏	教頭(定時制課程)
	笠井 寛	教頭(通信制課程)

5 会議の概要(協議事項)

○ 本年度の教育活動について

- (1) コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について
- (2) 令和5年度 岐阜県立華陽フロンティア高等学校について
- (3) スクール・ポリシーについて
- (4) 本校の特色ある取組について
- (5) 本校のキャリア教育について
- (6) 令和5年度 教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 昨年度の卒業生が就職した企業を訪問して回った時に、「通信制の卒業生はよく頑張っている」という声がよく聞かれた。定時制、通信制に関わらず、アルバイト経験のある生徒はコミュニケーションがうまく取れていると考える。

意見2: 岐阜バスから自治会にバス路線の変更の話があった。高校の近くのバス停がなくなり生徒が不便になるので、新たな路線でも高校最寄りのバス停を設置してもらえるようお願いしておいた。

意見3: 以前は卒業後の進路を決定せずに卒業する生徒が多くいたが、近年は減ってきてい

る。就職を考えている生徒に対して、アルバイトで協力してくれる企業を探してマッチングできれば、就職につながるのではないかと。

意見4：中学、高校の不登校の生徒の保護者には、通信制のことをよく理解していない方も多い。公立の通信制高校があることを知らない方もいるので、積極的に周知していくとよい。

意見5：大変な思いをして通学している生徒が多いと思うが、「何事にも意味がある。失敗しても意味はある。」ということを伝えたい。いろいろなことに挑戦してもらいたい。

意見6：授業等のICT化と言われているが、生徒に使わせる前に、まず教員が理解して使えるようにならなければいけない。本校の教員も苦勞されている。

意見7：子供が3年次になってから、日中のアルバイトを始めた。表情が明るくなり、家庭で話をするようになり、学校を休まなくなった。世間にもまれることは大事である。

意見8：コミュニケーションをとることと話し方が社会に出ていくうえで大事になってくる。コミュニケーション講座やソーシャルスキルトレーニングには価値がある。

意見9：手話コミュニケーションというものがある。手話をするにより、表情やしぐさが豊かになるので、学校の授業等に取り入れてみてはどうか。

6 会議のまとめ

- ・会長・副会長に次の2名が選出され、全委員より承認が得られた。

会長：安田 和夫 副会長：廣瀬 富久夫 (敬称略)

- ・今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画について、全委員より承認が得られた。
- ・本校の教育活動に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。
- ・次回は、「生徒及び保護者によるアンケート」の結果等を踏まえ、本校教育活動に対する意見や提言を集約する予定である。